



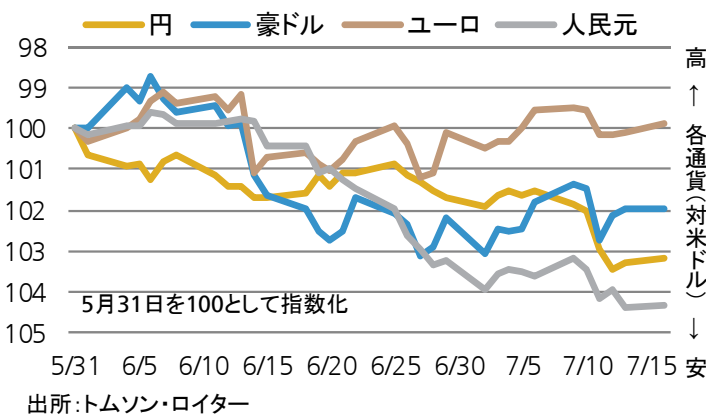
オーストラリア債券投資のヒント ～豪ドル相場と米中貿易摩擦の影響について～

- 米中の対立激化による中国株安などの影響で投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドルは対米ドルで下落しました。しかし、リスク回避一巡後は、豪ドル相場が見直され反発する可能性があります。
- 今回の米中貿易摩擦において豪州は直接的な影響は受けにくいと考えられ、市場の変動性が高まる中、相対的に高い利回りと高格付けの豪州債券については引き続き資金流入が期待されます。
- 豪州債券に80円台で投資し3年以上保有した場合、過去の例では、平均リターンはプラスとなる傾向がみられます。

POINT 1 豪ドルは、投資家のリスク回避一巡後は反発の可能性も

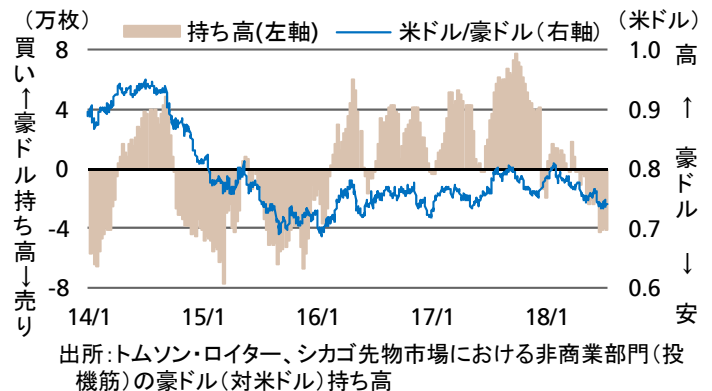
- 6月以降、米中の貿易摩擦の深刻化を受けて中国株式市場が急落するなど、投資家のリスク回避姿勢が高まりました。多くの通貨が対米ドルで下落する展開となり、豪ドルも中国との結びつきが強いと連想され対米ドルで軟調に推移しています。
- 今後の行方は依然不透明なものの、投機筋の売越しが2015年来の水準に積みあがっていることを鑑みると、投資家のリスク回避一巡後は、中国との関係に対する過度な懸念から売り込まれたとして豪ドル相場が見直され、反発する可能性もあるといえます。
- 豪州債券は、不透明な環境下において、足元の為替水準や高格付けで相対的に高い利回りという魅力が評価され、引き続き資金流入が期待されます。

■各通貨の推移(対米ドル) (2018年5月31日～7月16日)



■通貨先物市場の豪ドル(対米ドル)持ち高

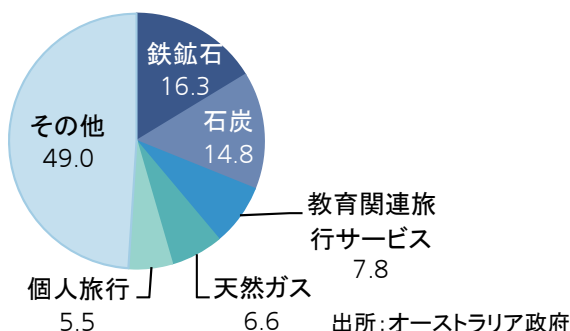
(2014年1月1日～2018年7月16日)



POINT 2 米国の関税強化の影響を受けにくい豪州

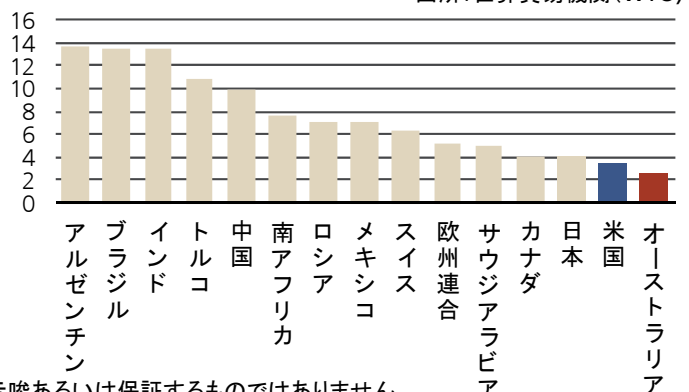
- 豪州は内需中心の経済に移行しつつあること、また今回米国が関税の対象としているのは中国のハイテク製品が中心であり、豪州の輸出の主力はサービス産業や資源であることを鑑みると、米国の関税強化の直接的な影響は受けにくいと考えられます。
- また、今回の中国への関税強化は、関税率の低い米国が高い国へ「相互主義」を追求しているとも考えられます。豪州の関税は米国に比べ低い水準にあり、豪州は米国の標的にされにくいと考えられます。

■2016年7月-2017年6月の豪州の輸出内訳(%)



■各国の平均関税率(%)

出所: 世界貿易機関(WTO)

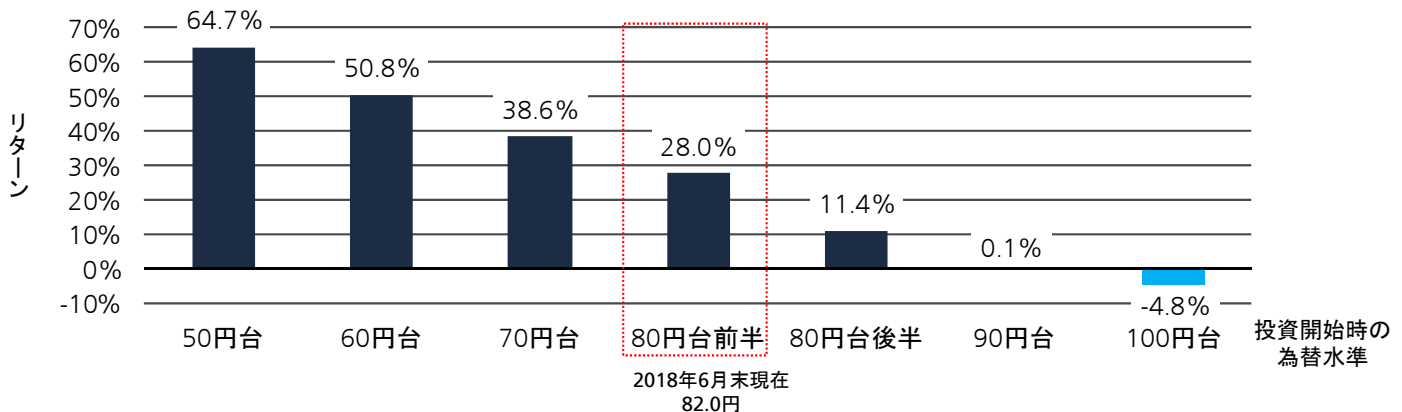


POINT 3 長期保有で発揮されるオーストラリア債券投資の魅力

- 下のグラフは、投資開始時の為替水準と、保有期間別リターン過去の平均を示しています。
- オーストラリア債券を3年間保有した場合、豪ドルが対円で90円台以下で投資開始した場合は、過去の平均リターンはプラスとなっています。また、豪州債券を5年間保有した場合は、100円台でも過去の平均リターンはプラスとなっています。
- オーストラリア債券投資は、対円での豪ドルの影響を受けるものの、より長期で保有することで金利部分の積み上がり等により、パフォーマンスが高まる可能性があるといえます。

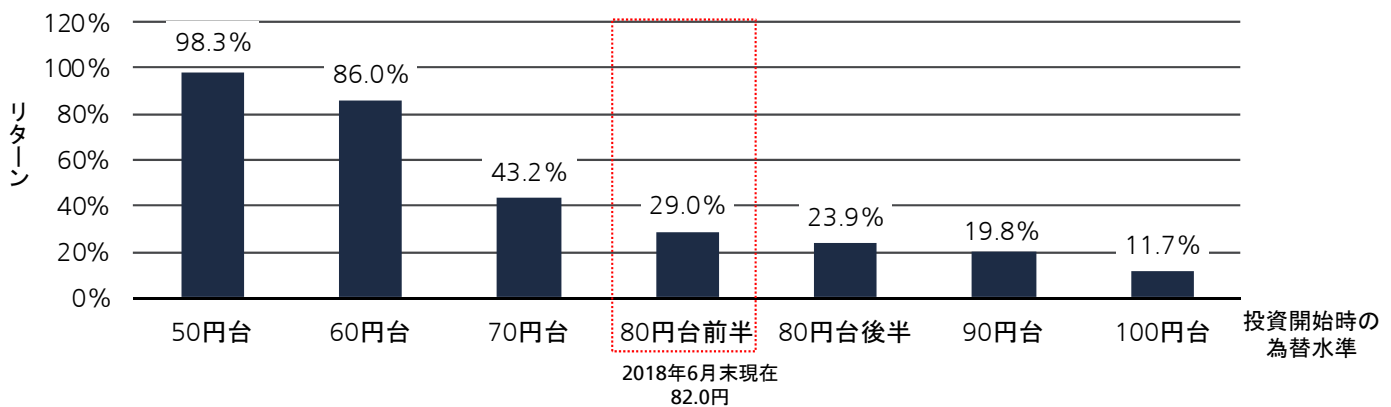
■ 投資開始から3年後の平均リターン(円換算ベース)

(投資開始:2003年5月末~2015年6月末、投資終了:2006年5月末~2018年6月末)



■ 投資開始から5年後の平均リターン(円換算ベース)

(投資開始:2003年5月末~2013年6月末、投資終了:2008年5月末~2018年6月末)



出所:トムソン・ロイター 豪州債券は、ブルームバーグ・オーストラリア債券(0-3年)指数のデータを使用
上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

＜ご留意事項＞投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面でご確認ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましてはUBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。＜投資信託のリスクについて＞投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

＜投資信託の費用について＞投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。【直接ご負担いただく費用】・購入時:購入時手数料:上限3.78%(税抜3.50%)・換金時:信託財産留保額:上限0.3%、【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】・運用管理費用(信託報酬):上限約2.4839%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただきます。※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料で使用している指数等に係る知的所有権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。© UBS 2018. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。